



第43回中国四国医学検査学会 (in 島根県) に参加して

多田 亜由 (香川大学医学部附属病院)

11月6日、7日に開催された第43回中国四国医学検査学会へ参加してきました。生理検査室に移ってから初めての学会発表で、とても久しぶりなので少々緊張気味での参加です。

開催地の島根県は、10月を神在月(かみありづき)と言います。日本中の神様が、出雲の国(現在の島根県)に集まり会議を開くことからそう呼ばれてきました。島根県には神様が集まった後なので、少しはパワーが残っていたのかもしれませんが、無事に発表を終える事ができました。

さて、派手ではなくしっかりと落ち着いたオープニングセレモニーで始まった本学会。会場は島根県民会館とサンラポーむらくも(裏の駐車場がタダ!)の2カ所でした。少し歩きますが、各会場へのアクセスは苦になりませんでした。近くに松江城や宍道湖もあり、どこか長閑な空気が嬉しかったです。展示場は受付近くにあり、最新機器が見られて参考になりました。

私が印象深かったのは特別講演&コンサート。「いのち慈しむ」ということでした。太田市の池田診療所所長の長坂先生のお話でしたが、奥様と一緒に演奏し、優しく語る…。聴いているこちらまで優しくなれそうでした。歌もとてもお上手で、診療所に通う患者様も癒されるのだろうな、と思いました。

学会のメインテーマは「プロフェッショナル」。誰からもプロの仕事してるねと、言われるようになりたいですね。学会長の柴田先生が「記録よりも記憶に残る学会にしたい」とおっしゃっていましたが、私にとっては印象深い学会となりました。さらなる向上心を持って日々の業務を行いたいと思います。



(同じ検査室の野口さん(左)と一緒に) (スタンプラリーで2等をゲット!)

《研修会のご案内》

① 平成22年度 四臨技 臨床化学研修会

連絡責任者：香西 宣秀 ☎ 087-876-1145

日時：平成22年11月21日(日) 9:30~14:30

場所：愛媛県立医療技術大学 階段講義室(北棟1F)

内容：〈一般演題〉(9:45~11:15)

- | | |
|---|----------------------|
| 1) 糖尿病療養指導で経験した症例 | 高橋 志津 (愛媛県：松山赤十字病院) |
| 2) 小規模検査室におけるシステム化による業務効率化 | 西森 啓祐 (高知県：若鮎北島病院) |
| 3) 検体検査における電子カルテを用いた診療支援 | 三好 雅士 (徳島県：徳島大学病院) |
| 4) NST活動への参加とアルブミンマップの活用 | 長野 裕美 (高知県：近森病院) |
| 5) 激しい血管内容血を伴った劇症型 <i>Clostridium perfringens</i> 感染症の2症例 | 原 美佐子 (香川県：香川県立中央病院) |
| 6) HDL直接法における乖離症例の検討 | 金並 真吾 (愛媛県：愛媛大学病院) |

(教育講演及び質疑応答) (11:20~12:30)

「精度保証施設認証制度とその審査基準」永峰 康孝(日臨技 検査値標準化部会委員、徳臨技会長)
(特別講演) (13:30~14:30)

「糖尿病診断基準改訂の背景とその限界～血糖値とインスリン値の読み方～」

西田 亙(愛媛大学大学院医学系研究科)

参加費：3,000円(弁当、テキスト代含む)

生涯教育研修：専門20点(別紙案内あり)

懇親会：会費4,000円「居酒屋 八角」松山市三番町(18:00~20:00)

② 生理検査研修会（肺機能検査） 連絡責任者：横内美和子 ☎087-861-3261（7896）

日時：平成22年11月27日（土）14：00～15：30

場所：KKR高松病院 3階 会議室 高松市天神前4-18

内容：平成22年度 日臨技サーベイの解説

肺機能検査の基礎 努力性肺活量（FVC）について 石崎 琢之（チェスト株式会社）

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点

③ 病理・細胞診研修会（細胞検査士認定試験 二次試験対策）

連絡責任者：長町 健一 ☎087-831-7101

日時：平成22年11月27日（土）10：00～17：00

場所：香川県立がん検診センター 5階 大会議室 高松市郷東町587-1 TEL:087-881-5601

内容：細胞検査士認定試験 二次試験対策

三谷由香利（坂出回生病院）

長町 健一（高松赤十字病院）

松永 徹（香川大学医学部附属病院）

森本 弘美（香川県立がん検診センター）

小原 昌彦（高知赤十字病院）

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点 定員：20名（事前の申し込みが必要です）

④ 平成22年度 第2回 四臨技 血液検査研修会

連絡責任者：藤村 一成 ☎0875-52-3366（1411）

日時：平成22年11月28日（日）

場所：高知大学医学部附属病院 第5実習室 および 臨床第3講堂

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 TEL:088-866-5811

内容：「形態から診断へのアプローチ～WHO分類2008における変更点～」

（症例解説）4症例（9：10～9：50）

（鏡検実習）（9：50～12：00）

（教育講演）「WHO分類2008骨髄球系のオーバービュー」（13：00～14：00）

坂東 史郎（愛媛県立医療技術大学）

（症例解説）（回答5分×2班+解説10分/1症例）（14：10～15：30）

参加費：2,000円 弁当代：800円（お茶込み） 別紙案内あり

主催：四国臨床検査技師会 血液検査研究班 担当：（社）高知県

⑤ 微生物検査研修会

連絡責任者：福田千恵美 ☎087-836-9582

日時：平成22年12月4日（土）15：00～17：00

場所：香川県社会福祉総合センター 第2中会議室 高松市番町1-10-35 TEL:087-835-3334

内容：「細菌検査における抗菌薬感受性試験の考え方と薬剤耐性菌」

竹井 真一（シスメックス広島支店学術担当）

「レジオネラからマラセチア ー論文ができるまでー」 塩田 量子（滝宮総合病院）

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点

⑥ 第6回 血液検査研修会

連絡責任者：藤村 一成 ☎0875-52-3366

日時：平成22年12月18日（土）14：00～17：00

場所：香川県社会福祉総合センター 高松市番町1-10-35 TEL:087-835-3334

内容：「新WHO分類2008第3版からの変遷～形態からのアプローチ～」

志賀 修一（京都大学医学部附属病院）

「未定」（シスメックス 学術部）

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点

⑦ 生理検査研修会（心臓超音波検査）

連絡責任者：横内美和子 ☎087-861-3261（7896）

日時：平成22年12月19日（日）10：00～12：00

場所：香川県立中央病院 2階 超音波室 高松市番町5丁目4-16 TEL 087-835-2222

内容：心臓超音波検査実習 基礎編（初心者対象） 谷本 泰三（香川県立中央病院）

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点 定員：20名

申込み：日臨技ホームページの【生涯教育】行事検索/事前申込から行事検索し、

事前募集の申込登録をお願いします。

***研修会の参加には、“会員証”を必ず御持参ください。**

日臨技「精度保証施設認証制度」説明会 (別紙案内あり)

日 時：平成22年11月28日(日) 13:30～17:00

場 所：サンポートホール高松 5階 54会議室

第36回香川県医学検査学会のご案内および一般演題募集のお知らせ

日 程：平成23年4月17日(日)

会 場：香川県立保健医療大学 講義棟3階大講義室

テ ー マ：『臨床症状からの病態アプローチ - 不明熱を考える -』

教育講演：『不明熱について(仮)』 講師：土橋 浩章 先生(香川大学医学部)

症例カンファレンス：感染制御、免疫血清、血液、生理、病理部門からの症例提示を予定しています。

つきましては、下記の要領にて一般演題を募集いたしますのでふるってご応募下さい。

記載事項：①会員番号 ②氏名(漢字) ③氏名(カナ) ④所属

⑤連絡先の電話番号・FAX番号 ⑥演題名 ⑦発表内容の部門

⑧E-Mailアドレス(携帯電話アドレスの場合は、下記のアドレスを受け取れるように設定して下さい。)

申 込 先：香川大学医学部附属病院検査部 山岡 源治

TEL：087-898-5111(内線3675)、FAX：087-891-2281

E-Mail：karingi-gaku@hi2.enjoy.ne.jp

演題締切：平成23年1月31日(月) 抄録締切：平成22年2月23日(水)

発表形式：口演7分、質疑3分(PCプロジェクターを使用)

*一般演題は、学生及び賛助会員の方からも受付けています。

香川県立保健医療大学大学祭に参加して(若手臨床検査技師の会活動報告)

竹内 彰浩(坂出市立病院)

先日、有志の方に声をかけさせていただき香川県立保健医療大学大学祭(橄欖祭)に進路相談カフェ(ラブオ♡カフェ)の模擬店を出店しました。ケーキと飲み物を飲んでもらいながら、パネルやDVDを用いて臨床検査技師の職業紹介、採血管などの検査にかかわる器具の展示、来場者の方々に白衣をきていただく『なりきり臨床検査技師コーナー』の設置を行いました。これから就職を控えている大学生や臨床検査技師を進路に考えている高校生以下の学生やその保護者の方々、そして一般の方々とも触れ合うことができました。大学生にとってはICT、NSTや治験といったチーム医療での活動に関心が高かったようで、パネルの前で立ち止まる姿を多くみかけました。

当日は、ミニオープンキャンパスもあり臨床検査学科を志望する学生ばかりでなく、看護学科を志望している学生、進路に迷っている学生も来ていたようです。香川県臨床検査技師会の理事の方々も来ていただき来場者数は219名と大盛況で、多くの人に臨床検査技師という職業をPRすることができたと思います。また、準備段階から37名の参加がありこの活動を通して若手臨床検査技師達も交流を深めることもできました。知らなかった同じ養成校の先輩や後輩であったり、卒業以来会ってなかった同級生と会う機会でもあったようです。今回の開催にあたりご協力いただいた香川県立保健医療大学の先生方、打ち合わせや準備・開催にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。

少しこの場をおかりして、若手臨床検査技師の会の設立目的について説明させていただきます。この会は、同じ目標に向かって様々なバックグラウンドを持つ若手技師達が協力しながら成し遂げることで交流を深めることを第一の目的としています。

現在考えている活動としては健康フェスティバルや学園祭といった場所での臨床検査技師のPR活動や街角ラブといった活動のお手伝い、レクリエーション企画等を考えています。また、学術的な活動や皆さんが技師会に対して抱いている要望を届けていけたらとも考えています。現在、若手臨床検査技師の会(仮称)という名称がついていますが、新名称を募集していますので皆さんもどんどん応募して下さい。採用された方にはささやかですが景品を用意しております。名称の決定はこの会の参加者による投票にて決定したいと考えています。

最後に、参加者の声を載せています。この記事を読んで興味が湧いた方や都合が合わず参加できなかった方は、今後定期的に打ち合わせを予定していますので下記の連絡先にご連絡頂ければ詳細をお伝えします。自薦、他薦は問いませんし参加者に制限はありませんのでどなたでもお気軽にご参加下さい。皆様からの連絡お待ちしております。

連絡先 坂出市立病院 臨床検査科 竹内 彰浩
電話：0877-46-5131(内線210) FAX：0877-46-9763
E-mail：saka_kensa@yahoo.co.jp

(参加者の声)

- 無料ケーキを食べにたくさん来てくれて、臨床検査技師をアピールできてよかったです。
- たくさんの若手技師さんとふれあういい機会になりました。
- 客引きの楽しさに目覚めました。
- 日頃会うことのない技師と交流を持ち、楽しませてもらいました。説明を真剣に聞く高校生の姿に新鮮さを感じました。
- 一般の方々に説明することは思った以上に難しかったが、いい経験になった。
- 学生時代の学園祭を思い出し、この職業をめざしていたころの気持ちにかえてがんばろうと思いました。
- 今回の学園祭を通じて『協力しあえる仲間(技師)』を作ることができた。



(パネルを用いて臨床検査技師の仕事紹介)



(お疲れ様でした！)

事務局より
重要なお知らせ

年会費の口座振替等について(再依頼)

ご存知のように(社)日本臨床衛生検査技師会の年会費納入方法が、平成23年度より口座振替になります。これに合わせて、(社)香川県臨床検査技師会の年会費(5,000円)も合算して振替とさせていただきます。

すでに年会費口座振替・臨床検査技師賠償責任保険 登録用紙の提出期限は過ぎていますが、まだ間に合いますので登録がまだの方は、登録手続きをお願いいたします。

もう一度、お手元に届いている日臨技からの封筒の中身をご確認ください。

・ 編集後記 ・

～* 人生の扉 *～

色とりどりに染まる紅葉。日本の紅葉が美しいのは、そこにたくさんの種類の木があるからだそうです。今年は、国際生物多様性年。様々な生命が共に豊かに存在することは、何よりも大切なことだと分かっているはずなのですが…。

さて、毎年のことですが、香川県精度管理調査が終わり、カレンダーの残りが一枚になると、そろそろ年末が近いんだと感じます。そんな時、こんな歌を思い出します。

I say it's fun to be 20 (二十歳になるのは楽しいこと)
You say it's great to be 30 (三十歳になるのは素晴らしいこと)
And they say it's lovely to be 40 (四十歳になるのは素敵なこと)
But I feel it's nice to be 50 (五十歳になるのも良いこと)

六十歳は fine (元気)、七十歳 alright (悪くない)、八十歳 still good (まだまだ大丈夫)、九十歳 maybe live (たぶん生きてる)。

そして、I still believe it's worth living (人生って素晴らしい、価値あるもの) (人生の扉/竹内まりや) この歌を聴くと、年を重ねることも、そう悪いことではないのかな…、という気にさせてくれます。今年もあと1ヶ月余り。にぎやかなクリスマスとお正月を越えると、またひとつ人生の扉が開きます。

小林 万代 (海部医院)



臨検タイムス 原稿締切り 毎月月末
発行日 毎月18日

原稿送付先
〒761-0104 香川県高松市高松町2365
医療法人社団 海部医院
小林 万代まで
TEL087-843-3666 FAX087-843-3667
Eメール:kobaboobu0128@hotmail.co.jp

*会員からの投稿をお待ちしております

臨検タイムス香川 通巻 184号

【発行所】
社団法人 香川県臨床検査技師会
〒760-8557 香川県高松市番町5-4-16
TEL087-835-2222 FAX087-863-3119
事務局携帯電話 090-5913-2303
【編集責任者】 小林 万代 松永 徹 内田 正美
【編集委員】 白井 智子 土居 香奈江
【印刷】 有限会社シーアンドシーイシハラ
平成22年11月印刷・発行